

保育士自己評価集計

A。よく出来ている B。ほぼ出来ている C。努力が必要

① 保育の理念・保育観	A	B	C
1. あなたは、全ての子どもについて、一人ひとりの存在とその人権を尊重していますか。	53%	47%	0%
2. 児童福祉法の理念に基づき、子どもの最善の利益を考慮して、子どもの生活と健全な発達を保證することが保育園の使命だと理解していますか。	63%	37%	0%
3. 日頃から「保育所保育指針」をよく読み、その保育理念を理解した上で保育内容や保育方法を考える時のガイドラインにしていますか。	33%	43%	24%
4. あなたの保育が、子どもの障害の基礎を培う極めて大切な役割を担っていると認識していますか？	80%	20%	0%
5. あなたは、子どもに文化や生活習慣、考え方が多様であることを知らせそれらを尊重する心を育てよう努めていますか。	67%	28%	24%
6. 子どもの性差や個人差にも留意しながら、固定的な性別役割分業意識を植え付けることのないように配慮していますか。	67%	28%	5%
7. 日頃から、子どもに身体的苦痛を与えたり、人格を辱めるなど精神的苦痛を与えることがないようにしていますか。	74%	26%	0%
8. 個人情報の保護に配慮し、子どもやその家庭についての秘密を正当な理由なく漏らすことがないようにしていますか。	95%	5%	0%
9. 様々な特徴（障害）を持つ子も持たない子も、一人ひとりのありのままの姿を受け止め、健やかに成長することを願い保育をしていますか。	68%	32%	0%
10. 育児の考え方について、保護者とあなたが食い違っているとき、まず相手の気持ちを受け止め、話し合い、その保護者の立場や考え方を理解するよう努めていますか。	56%	44%	0%
11. あなたは、子どもと一緒に思い切り体を動かして遊ぶことの重要性を理解し、楽しんでしていますか。	75%	25%	0%

② 保育計画・指導計画

	A	B	C
1. あなたは、指導計画を作成する時、「保育所保育指針」を読み参考にしていますか	18%	73%	9%
2. あなたは、園の全体的な計画を理解し、指導計画を作成していますか。	60%	40%	0%
3. 子ども一人ひとりの発達の姿や興味の対象の実態を把握して、指導案を作成していますか。	60%	40%	0%
4. 複数担任の場合、よく話し合ってお互いの考えを十分に理解した上で、指導案を立てていますか。	60%	40%	0%
5. 園の理念や理念・目標や指導案のねらいや内容を保護者にわかるように説明できますか。	23%	77%	0%
6. あなたは、季節感や日本の伝統的な行事などを指導計画のなかに取り入れるようにしていますか。	91%	9%	0%

③ 乳児保育

1. あなたは、一人ひとりの子どもの出生時の状況、その後の発育・発達など、生育歴を細かに把握するとともに、保護者の状況などの背景も理解していますか。	44%	44%	12%
2. 哺乳瓶の消毒、調乳、沐浴の仕方など基本的な事柄や子ども一人ひとりの健康状態などを、随時職員相互で確認しあっていますか。	72%	14%	14%
3. 授乳について、優しく抱いて微笑みかけ、ゆったりと飲ませていますか。	対象児なし		
4. 離乳食は、家庭と連携を取りながら、一人ひとりの育ち具合やその日の体調に合うように工夫していますか。	34%	66%	0%
5. 赤ちゃんの目の動き、泣き声、しぐさ、片言をメッセージとして受け止め、ほほえみ、要求に応じる言葉を優しく返していますか。	30%	70%	0%
6. 喃語には、ゆったりと応えたり、優しく話しかけたりして、発語の意欲を育てていますか。	50%	50%	0%
7. 絵本を見せながら、その子の指すものに答えたり、優しい言葉を添えたりして、あなた自らも楽しむことができますか。	75%	25%	0%

	A	B	C
8. あなたが、どんな状態にあるときでも、赤ちゃんの笑顔やしぐさをかわいと感じることが出来ますか。	63%	37%	0%
9. 睡眠中の姿勢や顔色、呼吸などの確認の重要性を理解し、行っていますか。	63%	37%	0%
10. 一人ひとりの生活リズムや欲求、その日の体調等を把握した上で、睡眠時間を調節したりする柔軟性を持ち合わせていますか。	38%	62%	0%

④ 1・2歳児保育

1. 大勢の子どもを保育する時でも、あなたを独占したがるその子の気持ちも十分に満たすなど、子どもの背景に配慮しながら、個別対応の努力や工夫が出来ますか。	25%	72%	0%
2. 「できない、やって」と甘えてくるときは、その都度、その子の気持ちを受け止め一人ひとりの発達に応じて欲求を満たす援助をしていますか。	58%	42%	0%
3. あなたは、子どもの「これなに？」「どうして？」などの繰り返しの質問に忙しい時でもできるだけその都度応えようとしていますか。	33%	67%	0%
4. 着替えや食事などの時には、その子に応じた手助けや言葉がけをしながら、時間を要しても自分からしようとする気持ちを大切にしていますか。	80%	20%	0%
5. 食べ物をこぼしたり汚したりしながらも、子どもが自分で食べる意欲を育てる為に楽しい雰囲気ですごせることを第一に考えていますか。	50%	50%	0%
6. 「おや、なんだろう？」「これで、遊ぼう」と好奇心や興味を引き起こす素材や場を用意する心配りをしていますか。	50%	50%	0%
7. わがままで「いやだ」と言う子どもの内面に配慮しながら、その子の気持ちを肯定的な方向に向けるようにしていますか。	38%	62%	0%
8. 自分の思い通りにならず、怒ったり泣いたりする子どもに対して、丁寧に話してきかせたり、気持ちを切り替える時間を取り、ゆったりと待つことが出来ますか。	33%	67%	0%

⑤ 3歳児以上保育

A B C

- | | | | |
|---|-----|-----|----|
| 1. 子どもが緊張したり、不安を感じたときには、あたたかく受け止め、優しく接するなど、家庭的な雰囲気づくりに心掛けていますか。 | 60% | 40% | 0% |
| 2. あなたは、子どもが安心して自分の気持ちを伝えられるように、いつも心を開いて信頼関係をつくる努力をしていますか。 | 70% | 30% | 0% |
| 3. 子どもが自己表現できるように、その時々々の要求や気持ちを読み取り、どの子ども自分が愛されていると実感できるように接していますか。 | 70% | 30% | 0% |
| 4. おもらしをしたり、排泄の後始末がうまくいなくても、さりげなく対応し、自分でできるように個別の配慮が来ていますか。 | 78% | 22% | 0% |
| 5. 子ども達が快い疲労感を感じて昼寝に入れるように、十分な遊びの場や時間を設けるようにしていますか。 | 71% | 29% | 0% |
| 6. 子どもがいろいろな楽しさを味わうため、散歩など戸外に出かける機会を積極的に多く取り入れていますか。 | 57% | 43% | 0% |
| 7. あなたは、子どもが嬉しい時や悲しい時、また、困ったり戸惑ったりした時にそれを伝えたい存在となっていますか。 | 67% | 33% | 0% |
| 8. 子ども達のけんかやぶつかり合いを、友だちを知る機会や、社会性が育つ過程として受け止め、その育ちを見守ることができますか。 | 70% | 30% | 0% |
| 9. 子どもが自由に取り出して遊べるよう、遊具、用具などの攻勢を整え、その量や補充について工夫していますか。 | 38% | 62% | 0% |
| 10. 子どもに言い聞かせるときには、問い詰めたり、押し付けたりせずに子ども自ら考えるきっかけになるような分かりやすい言葉使いをしていますか。 | 60% | 40% | 0% |

⑥ 行事

- | | | | |
|--|-----|-----|----|
| 1. あなたは、園の行事について、その意味について十分に考えて保育の中に組み込んでいますか。 | 64% | 36% | 0% |
| 2. 子ども達が期待をもって行事に参加できるよう、年間計画の段階から子どもの主体性を尊重する保育場面を用意していますか。 | 50% | 41% | 9% |

	A	B	C
3. 保護者が参観する行事のときには、保護者の評価にとらわれず、日常の子どものありのままを見てもらう気持ちのゆとりをもっていますか。	18%	75%	7%
4. 行事が、子どもの生活や遊びから発展していくように、日常の保育の積み重ねの結果となるよう心掛けていますか。	54%	46%	0%
5. 行事に参加することを嫌がる子どもには、その気持ちを汲み取って、行事の中でその子が活動できる場面を用意していますか。	46%	54%	0%

⑦ 環境設定について

	A	B	C
1. あなたは、環境を通した保育の重要性について理解していますか。	63%	37%	0%
2. あなたは、子ども達の興味や関心を踏まえて保育室の環境を整備していますか。	38%	62%	0%
3. 子どもが自由に遊びを選択できるように環境を整えていますか。	46%	54%	0%
4. 子どもが自由に遊びを選択することの意味を理解していますか。	64%	36%	0%
5. 自分自身が保育の中での「人的環境」であることを理解していますか。	73%	27%	0%
6. 保育室の環境を設定するうえで自己都合を優先していませんか。 例) これを出すと大変だから。すぐトラブルになるから。	31%	69%	0%
7. 子どもの遊びの様子や、遊びの中での子ども同士の関わりをよく観察、理解して今現在の子どもの発達や、発達欲求に合わせた活動ができるように整えていますか。	91%	9%	0%

令和2年度 保育士自己評価 まとめ

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大により、例年とは違った環境の中での保育が求められ、感染拡大防止の為に保育の内容が制限される場面も多々ありました。

コロナ禍での保育を考えたとき、改めて「保育の質」について職員全体で考え、併せて自己評価の重要性についても再確認しました。

今回の自己評価を通して、子どもの行動をその背景まで考えて捉える事、子ども理解を深める事、職員間の連携の3点を課題として捉えました。

この3点を改善するため、保育者自身が自分の保育を振り返り、連携の為に話し合う時間を保障することで、保育の質の更なる向上につなげていきたいと考えております。

今後とも、園の活動にご理解とご協力をお願いいたします。

社会福祉法人藍青会

西大宮青藍保育園 園長 関根裕子